

流通合理化事業活動の概要

事業者：（株）PFC茨城



計画概要

物流の2024年問題に対応し、円滑かつ効率的な物流網の構築と実需者への安定供給・販売を実現するため、首都圏への消費地ストックポイントや中継共同物流拠点として機能するコールドチェーン対応型の施設を整備し、高品質な青果物の安定供給を目指す。

目標

当該施設を活用した中継輸送、共同輸配送を推進することで、目標年度（令和12年度）において、集荷数量を6万トンまで増加させる。

食料システムへの寄与

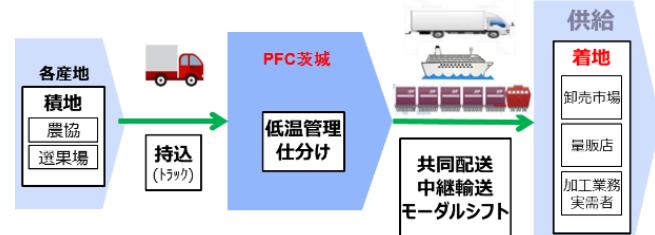
中継輸送、共同輸配送、モーダルシフトの推進による物流の効率化を行うとともに、コールドチェーンを確保した流通を行うことで、高品質の青果物の安定的な供給が可能となり、消費者の多様化したニーズに継続的に対応できるようになる。

また、産地にとっても、品質を保持したままのストックが可能になることは、天候異変等に起因する生産量の増減による影響を抑制することとなり、青果物の安定・継続的な取引と価格の安定が確保される。

計画のイメージ



施設内全体を温度管理、冷蔵庫内は品目特性に応じ適切な温湿度（室温1°C～13°C、湿度80%～99%）管理により鮮度維持期間を延長。ストック期間が伸び大ロット配達が可能。



消費地ストックポイントや中継共同物流拠点として、共同配送により大型車での積載率最大化。

（2025年11月4日認定）